

第62号



2020.7月



発行 城里町社会福祉協議会 ☎029-288-7013 FAX 029-288-7021 ホームページ <http://www.shirosato-syakyo.com>
編集 広報ボランティアグループ

育児を
がんばって
いるあなたと
育児経験の
あるあなた。
子どもの
笑顔を
守るため、
子どもの
成長を
助けるために。



左から高根台にお住まいのゆうせい君、いつき君、そうすけ君

ファミリーサポートセンターに会員登録をしませんか。

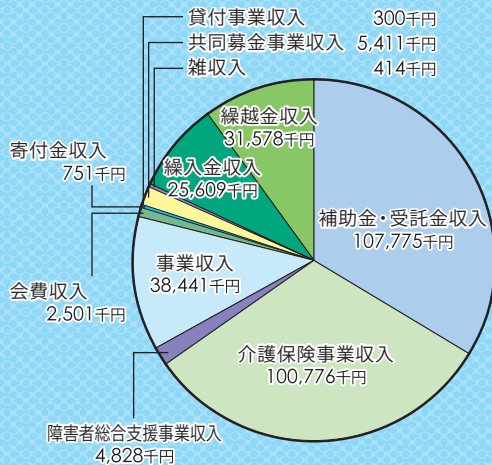
ファミリーサポートセンターとは、子育ての援助(保育、保育に伴う送迎、産前産後の手伝いなど)をしてほしい方(利用会員)と、子育ての援助をしたい方(協力会員)が会員として登録し、お互いに助け合う会員組織で、有償のボランティア活動です。

●お気軽にお問い合わせください。 城里町ファミリーサポートセンター ☎029-288-7013

令和2年度 城里町社会福祉協議会予算

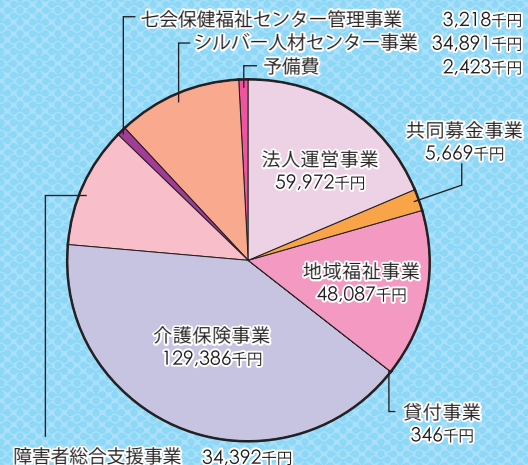
収入の部

収入 3億1,838万4千円



支出の部

支出 3億1,838万4千円



令和2年度 社会福祉法人城里町社会福祉協議会事業計画

1. 善意銀行の運営

- (1) 寝たきりの高齢者への紙オムツ配付(民生委員の協力を得て実施。要申請)
- (2) 訪問理美容サービス事業の実施(理美容所との委託契約により実施。要申請)
- (3) 独居老人(70歳以上)へのふれあい訪問事業を実施(ボランティアの協力を得て実施。要申請)
- (4) 身体障害者補助犬飼育管理費助成事業(1件30,000円)
- (5) 自主防災組織への助成(20,000円×15組織)
- (6) 生活困窮者世帯支援事業(生活困窮世帯に必要な物品等を給付)

2. 心配ごと相談所の開設運営(弁護士が対応。年24回開所。)

3. 福祉推進事業の展開

- (1) 子どもヘルパー派遣事業(常北・桂・七会地区で実施)
- (2) 育児用品助成事業(赤ちゃんが生まれた家庭に、育児用品の購入助成。要申請)
- (3) 子育て援助活動支援事業(ファミリーサポートセンター事業)(幼児、児童の一時預かり事業)
- (4) シルバー人材センターの運営を実施(臨時的かつ短期的なもの又はその他の軽易な仕事を受注)
- (5) 配食サービス事業(ボランティアの協力を得て、在宅で支援の必要な高齢者の方へのお弁当配付)
- (6) 介護予防事業(ボランティアの協力を得てふれあいサロンを開催。自主サロン(45サロン)拡充へ支援を実施)
- (7) 地域活動支援センターの受託運営(通所による障害者等へ作業訓練及び生活訓練を指導・支援)
- (8) 障害者訪問入浴サービス事業(障害者の自宅にて入浴助成実施)
- (9) 日中一時支援事業の受託運営(特別支援学校下校後の児童生徒を対象として生活訓練を指導・支援)
- (10) 小口貸付事業(短期の少額貸付を実施)
- (11) 団体の育成・支援(高年者クラブ連合会、身体障害者福祉協会、心身障害児(者)父母の会、母子寡婦福祉会、遺族会)

4. 調査広報活動

- (1) 広報紙の発行(ボランティアの協力を得て発行)(アドレス <http://www.shirosato-syakyo.com>)

5. 生活福祉資金貸付事業(資金の貸付と相談援助を実施)

6. 介護保険事業・介護予防・日常生活支援総合事業

- (1) 訪問・訪問入浴・通所介護事業の実施
- (2) 介護予防・生活支援サービス事業(介護予防訪問・通所介護事業実施)

7. 障害者総合支援事業(居宅介護・相談支援事業の実施)

8. 介護保険居宅介護支援事業(ケアプランの作成)

9. 地域ケアシステム事業の推進(在宅ケアチームの組織化及び救急医療情報キットの配付等)

10. ボランティア組織の育成強化

- (1) ボランティア活動・普及協力校の活動促進並びにボランティア連絡協議会育成強化・連絡調整

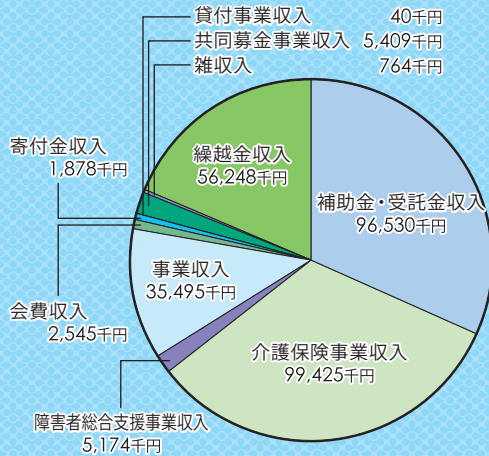
11. 地域福祉の推進

- (1) 住民参加型福祉活動の啓蒙・啓蒙
 - ①在宅福祉サービス(家事援助、買物代行、通院介助等)
 - ②福祉有償移送サービス(城里町・近隣市町村等の病院等への送迎)
- (2) 日常生活自立支援事業(福祉サービスの利用手続きや金銭管理をサポート。要契約)
- (3) ふれあいタクシー事業運営【デマンド交通システム事業】(要予約により、相乗りでの運行)
- (4) 福祉バスの運行(高年者クラブ事業及び社協事業への活用。要予約)
- (5) 日常生活用具貸与事業(車イス、介護用ベッド等の貸し出し。無料)
- (6) 火災見舞金の支給(居宅の火災に対しての見舞金)
- (7) 生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーターの育成及び協議体の設置)

令和元年度 城里町社会福祉協議会決算

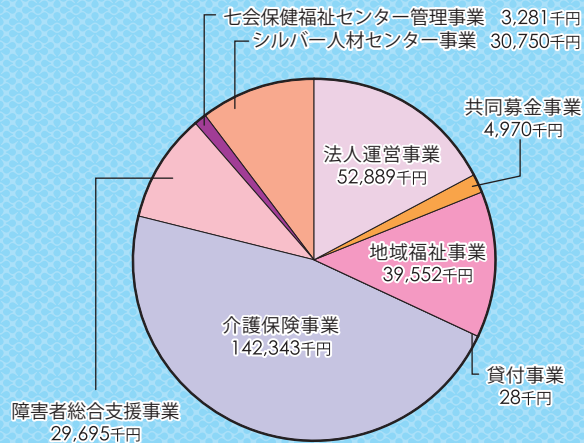
収入の部

収入 3億350万8千円



支出の部

支出 3億350万8千円



◆令和元年度 事業実績報告◆

広報紙の発行	「かざぐるま 57号・58号・59号・60号」各戸配付			
広報委員会	広報紙発行に関わる編集会議 累計16回			
社会福祉大会	善意銀行寄付者、福祉功労者の表彰、受賞者94名(団体含む)			
地域ケア推進事業				
キーパーソン会議	事例検討、意見交換		計12回	
クイック調整会議	<在宅ケアチーム 60チーム>		13回	
配食サービス	利用登録者数	184人	延べ	6,843名利用
ふれあいサロン事業	自主活動サロン(46か所)		延べ	9,135名参加
ふれあい訪問サービス			延べ	788名利用
家族介護用品支給事業	支給者実人数	19名	延べ支給人数	121名
子どもヘルパー派遣事業	自宅訪問事業ほか26回実施		子どもヘルパー	16名 延べ 364名参加
地域活動支援センター事業	農作業・外注作業など実施		利用者	16名
日中一時支援事業			延べ	1,027名利用
子育て援助活動支援事業	利用延人数	45名	利用時間	42.5時間
在宅福祉サービス事業	利用人数	99名	利用時間	550時間
育児用品助成事業			延べ利用者	92名
入学準備金支給事業	小・中学校入学祝い金支給	3名		
訪問理美容サービス事業	延べ利用者	17名		
紙おむつの配付事業	延べ利用者	296名		
ボランティア活動事業				
福祉体験学習	小・中・高学生対象 福祉体験など6回開催		延べ 301名参加	
ボランティア体験	中学生 45名参加			
心配ごと相談事業	相談件数	57件		
居宅介護支援事業	実人数	261名	延べ	2,269件
訪問介護事業	実人数	18名	延べ	189名
訪問入浴事業	実人数	3名	延べ	27名
通所介護事業	実人数	54名	延べ	471名
障害者総合支援事業	計画実人数	106名	延べ	282名
(相談支援事業)(居宅介護事業)	訪問実人数	6名	延べ	58名
身障入浴介護事業	実人数	3名	延べ	24名
シルバー人材センター	受注件数	1,114人	延べ就業人数	4,765人
デマンド交通事業	利用者計	12,990人	1日当たり	54人
金婚者への記念品贈呈	金婚該当者	8組		
小口貸付事業		1件		
身体障がい者補助犬育成管理費補助事業		1名		
生活困窮者世帯に対する支援及び連携	利用者数	1名	延べ回数	1回
福祉バス運行事業	高ク連利用	11回	他団体利用	25回
自主防災組織活動補助事業	助成団体	6組織		
台風19号ボランティア支援活動	活動日数	7日	延べ活動人数	267名
			延べ活動件数	50件

新型コロナウイルス感染に注意しながら 熱中症にも気をつけましょう



令和2年度の 熱中症予防行動

環境省
厚生労働省
令和2年5月

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう



- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



環境省



厚生労働省

新型コロナウイルス感染症に関する情報:

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

熱中症に関する詳しい情報: <https://www.wbgt.env.go.jp/>



認知症って何？

⑤ 認知症の人の 気持ちとは？

さまざまな不安やつらさを感じています。

認知症の人は、もの忘れが頻繁に起こるため混乱します。また、もの忘れをした自覚がないのに指摘されるので、不愉快になりさらに混乱します。

また、鍋を焦がす、同じ物を何度も買ってしまふ、約束したことを忘れてしまふ、といった行動面の失敗が目立つようになります。周囲の人が認知症とは気づかないと、注意を受けることも少なくありません。失敗体験が積み重なり、周囲の理解も得られなければ、仕事や生活に自信を失います。

さらに、病気が進行すれば出来ないことが増えて、行動も制限されがちになり



ます。料理作り・孫の子守り・ひとりで外出などの行動も制限されます。となればストレスもどんどんたまっていくでしょう。

本人は、自らの変化にとまどい、不安や辛さを感じています。家族や周囲の人は、認知症という病気を正しく理解し、認知症の人の気持ちに寄り添った対応を心がけることが大切です。

認知症を発病した本人の声

●何も分からなくなるときを考えると、頭がおかしくなりそうです。

●脳はなぜ、壊れていくのでしょうか。いろいろ出来た仕事も忘れていきます。教えてください。私に今、何ができますか？

●もっと働きたいです。妻や子供に楽をさせたいです。

●私たちに希望をください。私たち一人ひとりが、自分の内なる豊かさを持ったかけがえのない存在であることを分かってください。

●私たちに耳を傾け、気持ちを認めて、価値ある人間として、接してください。

あるご家族は、私たち夫婦のモットーは、「今まで出来たことが出来なくなった」と嘆かず、「まだ、こんなに出来る能力が残されている」と感謝しつつ、「見守り介護」に徹するということ。おか

しなことをしても、叱らず、とがめず、危なくなければ自由に行動してもらっています。周囲の目には「問題行動」と映っても、きっと本人は一生懸命働いている

と思っているのだからと話されてました。



つくしの四季



つくしの活動は例年、春のお茶会から新年度がスタートします。大子町で開催される常陸の国YOSAKOIソーラン祭りや、茨城県障害者スポーツ大会レクリエーション部門への参加、青山花しょうぶ祭りに向けて製品の販売活動の準備を進めるなど、初夏にかけて、いそがしく過ぎていくところです。今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、これらの行事が中止になりました。

しかし、ゆつくりしている時間は少なく、毎日さまざまな作業をおこなっています。

今回、新型コロナウイルス感染防止のために、2種類のマスクを作製しました。一つは、不織布を使用したものです。ピンクやオレンジ、ブルーなど、それぞれ自分の好きな色を選び、色鮮やかにできあがったマス



オリジナルマスクをつけて

世界に一つだけのオリジナルマスクをつけて、つくしは、今日も元気に活動しています。



クを身に着けると、心も明るくなったようでした。もう一つは布製のマスクで、マスクを作るために初めてのミシンに挑戦しました。緊張しながらミシンに触る人、興味津々で「やりたい!」と積極的な人、みんな職員と一緒にミシンで縫い進めました。

手話を学ぶ ③
都道府県の表し方 ③

ココナ感染ニュースを見るたび、手話通訳者の姿を目にする機会が多くなりました。この機会に学んで頂きたいと思います。

「神奈川」(神)+(川)
(神)
両手の手のひらを打つ



①川 右手の人差し指と中指・薬指を立て、前に倒して下す



※「神」は柏手を打つ様子を、「川」は漢字の「川」の形を表す。ただし、「神は通常2回打つが、この場合は1回打つだけ」

「山梨」(山)+(ぶどう)
(山)
右手の手のひらを下に向けて、
弧を描いて山の形にする



（ぶどう）
左手の下で右手をひねりながら
下げて閉じる



※「山」は山の形を「ぶどう」はぶどうの形を表す。ぶどうが山梨県の名産であることから。

「長野」(長い)+(ノ)
(長い)
親指と人差し指をくつつけた両
手を向かい合わせ、左右に開く



⑦ 右手の人差し指を伸ばして「ノ」と空書きする



※「長い」で、両手を左右から真ん中に寄せると「短い」になる。

ステイホームの中、手話を使つて家族と遊んでみませんか。学校へ行つてもソーシャルディスタンス(社会的距離)を保ちながら、友達と楽しく遊ぶ事ができます。今回は手話を使った遊びを少し披露してみますね。

① 指文字しりと

かざぐるま第52号から第56号掲載の「指文字で50音を表す」を使つてのしりとりにです。やり方は普通のしりとりと同じですが、唯一違うのは、回答する時にその単語を指文字を使つて答える事です。

指文字も手話も難しいな
という時は、身ぶり・手ぶ
り・ジェスチャー等を使っ
て遊ぶ事もできます。

② ジェスチャーゲーム

やり方は普通のジェスチャーゲームと一緒にです。お題を一人だけに伝え、それを皆の前で披露し、お題を当てるゲームです。

③ 伝言ゲーム

これも普通の伝言ゲームとやり方は一緒です。グループが一行になり、列の先頭の人にお題を伝え、伝えられた人はその次の人にそれを伝えます。これを繰り返して、最後の人が伝わってきた言葉を発表し、お題と一致するかどうかを楽しむゲームです。このゲームではジェスチャーを使うので、伝えられる人と他の人は反対の方向を見ていなければいけません。

ゲームをやってみると、私達は知らず知らずの内に手話を使っている事が多々あります。それを見つけるのも又、おもしろいです。それでは最後にクイズです。この手話は何でしょう。



(すぐに使える手話辞典 6000 より引用)
(答えは8ページにあります)



ひっそりと建つ歌碑

「踏むは惜し 踏まねば行
かむ道もなし 古きことお
もう 春の山寺」この和歌
は、水戸藩第2代藩主徳川
光圀（義公）が、元禄11年（1
698）金剛院に2泊した折
桜の花の散る様を見て詠ま
れたものです。

義公生誕300年（1922
8）に石塚町の有志が、水戸
徳川家13代当主徳川圀順（くにゆき）に
万葉集仮名で書いていただ
き、歌碑を建設したもので
す。

金剛院は石塚氏の祈願所
でしたが、天保14年（184
3）水戸藩の社寺改革により
廃寺となりました。石塚城
跡東側の夏草の生い茂る小
道を降りていくと、左側の
やや小高い所に、歌碑は木
々に囲まれてひっそりと建
っています。

しろさと ④⑤
義公観桜歌碑

町民の皆様に申請をしていただく事業をご紹介します。

地域ケアシステム推進事業

- ・緊急医療情報キットの配付
- ・高齢者見守りシール配付

善意銀行

- ・紙オムツ配付
- ・訪問理美容サービス事業
- ・ふれあい訪問事業
- ・生活困窮者世帯支援事業

共同募金助成事業

- 地域福祉推進事業
 - ・歳末たすけあい事業
- 児童・青少年福祉事業
 - ・育児用品助成事業
 - ・新入学児童、生徒へ入学準備金を贈呈

今回は、地域ケアシステム推進事業に関する申請事業を掲載いたします。

❖緊急医療情報キット配付事業

かかりつけ医療機関やかかっている病気などの緊急時に必要な情報を救急医療情報キットに保管することで、救急隊による迅速な救急活動に活かすことができます。

対象者

- ・65歳以上で在宅の高齢者世帯
- ・ひとり暮らしで身体障害者手帳の交付を受けている者
- ・ひとり暮らしで療育手帳の交付を受けている者
- ・ひとり暮らしで精神障害者福祉手帳の交付を受けている者

救急医療情報キットに入れるもの

- ① 救急医療情報シート
- ② 本人の写真
- ③ 健康保険証(写)
- ④ 診察券(写)
- ⑤ お薬手帳(写)

❖高齢者見守りシール配付事業

光に反射するシールを、見守りが必要な方の靴のかかとや杖、バッグなどに貼付することで認知症等で外出時に居場所が分からなくなった際の早期発見・保護の一助となるものです。

対象者：以下の①、②、③を満たす方

- ① 65歳以上の方で、城里町に住民登録のある方
- ② 要介護1以上の認定を受け、認知症等により外出時に居場所がわからなくなる等の不安がある方
- ③ 在宅で生活している方(施設等に入所している方は対象外です)

配付物：見守りシート(一人1シート)

費用：無料

【問合せ先】 城里町社会福祉協議会
☎029-288-7013



作業もはかどります

地域活動支援センターに、地域活動支援センター利用者の保護者で結成されている「つくしの会」より、耕運機を寄贈していただきました。約2反歩ある畑の作業は、非常に大変で、いつも3〜4日掛かっていましたが、耕運機のおかげで約半日で終了し、作業効率も格段に上がりました。支援センター利用者も大変喜んで、汗をかきながら、野菜作りに励んでいます。皆様にも今まで以上に、新鮮で美味しい野菜をお届け出来るよう頑張っていきたいと思っております。

耕運機で
作業効率アップ





左より上遠野修町長、大竹正雄会長、園部春香書記



左より上遠野修町長、大高松男支部長、松崎信一幹事長

自由民主党常北支部(支部長 大高松男様)より1000kg、城里町上入野地区農業集落排水処理施設維持管理組合(会長 大竹正雄様)より30万円を寄贈していただきました。新型コロナウイルスの影響のあった方への物資支援に活用させていただきます。

新型コロナウイルスで影響のあった方へ支援



色とりどりのマスク

城里町立常北中学校生徒が手作りしたマスク330枚とフェイスシールド100枚、また水戸ヤクルト(株)より愛飲者の皆様が手作りしたマスク100枚が、町長寿応援課を通し社会福祉協議会へ寄贈されました。新型コロナウイルス感染拡大を阻止し、さらに終息を願って作られたマスク、フェイスシールドは、配食サービスを利用して高齢者の方々が協力いただいているボランティアの皆様にも届けられます。

手作りマスク、手作りフェイスシールドの寄贈

一時的な資金の緊急貸付に関するご案内

(申請受付期間は9月末日まで)

主に休業された方向け (緊急小口資金)

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、少額の費用の貸付を行います。

- ◆対象者 新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯
- ◆貸付上限額 20万円以内
- ◆据置期間 1年以内
- ◆償還期限 2年以内
- ◆貸付にあたって 無利子、保証人不要

申込先 城里町社会福祉協議会
☎029-288-7013

主に失業された方等向け (総合支援資金)

生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行います。

- ◆対象者 新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
- ◆貸付上限額
 - ・(二人以上) 月20万円以内
 - ・(単身) 月15万円以内
 貸付期間：原則3ヶ月以内
- ◆据置期間 1年以内
- ◆償還期限 10年以内
- ◆貸付にあたって 無利子、保証人不要

梅雨のあい間の青空がともすがすがしく思える季節となりました。しかしながら、今新型コロナウイルス感染症の影響があらわに残っています。かざぐるまも、連載している「きらっと生きる」「さわやか元気さん」の掲載を見送ることとなりました。残念ではありますが、次号までに何とか復活できればいいなと思っています。

編集後記

使わないマスクをご寄付ください

マスク寄付箱を設置します

※設置期間 令和2年8月末頃予定

※設置場所

- ・城里町役場本所 ・コミュニティセンター城里
- ・常北公民館 ・城里町社会福祉協議会 ・桂図書館(桂支所)
- ・七会町民センター ・七会保健福祉センター

※未使用・未開封のものに限ります。

(手作りマスクは衛生面にも配慮し、透明な袋に包装願います)
※集められたマスクは、町内の福祉施設等へ提供されます。

